

すすらんのさと



題字
大木交七さん(90)

2010年 6月号 No. 111

発行者

〒869-5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームすすらの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

母の日に肩たたき

5月9日(日)の「母の日」に、感謝の気持ちをこめて利用者の肩たたきを行いました。一人一人、肩たたきを行いながら記念撮影行くと皆さん照れくさそうに笑顔を見せられ大変喜ばれました。



左から桑原栄さん(76)古川サチ子さん(66)前田ミズエさん(83)

前田ミズエさん(83)は「肩たたきされるのは1年ぶり」と涙を流して喜ばれました。

古川サチ子さん(66)は「ああ気持ちよか」と終始笑顔で過ごされました。

ご家族からは、たくさんのお花や衣類が贈られました。娘さん大変喜ばれました。娘さんよりプレゼントされたカーネーションが花壇に植えてある田山カ

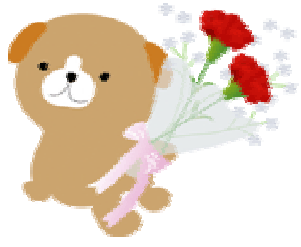
ドさん(88)と濱口三重子さん(95)は、毎日花を眺めては「来年が楽しみです」



花壇に植えてある濱口さんのカーネーション

み」と花の成長を楽しみにされています。

介護職員 小川雄二



祝 おめでとうございませう
～6月の誕生者～

堀本 ハツヨ様
(T 5.6.20 94歳)

大木 交七様
(T 9.6.3 90歳)

題字に挑戦!

大木交七さん

本誌の題字を大木交七さん(90)に書いていただきました。

うにされていました。

日頃から大木さんは、ペンで自分の名前を書いたり、他利用者の名前を尋ねて書いておられます。今回、題字をお願いします。と「あまり上手に書けないから」と照れくさそ

最初は筆ペンで書かれていましたが、マジックペンに変更されると「こつちが書きやすかあ」と何回も何回も納得のいくまで書いて下さいました。大木さんの書いた「すすらの里」の文字が広報誌に掲載される事を告



真剣な表情の大木交七さん

げると「そら楽しみない」と笑顔を見せられました。

介護職員 小川雄二



栄養満点

食中毒に注意しましょう！

6月から夏場にかけて食中毒が発生しやすい時期です。食中毒は、給食や飲食店で起こると思われがちですが、家庭の中でも食中毒が発生する危険が潜んでいますので日常生活の中で予防を心がけることが必要です。そこで、今回は家庭でできる食中毒の予防について紹介します。

<食中毒予防>

手を正しく洗いましょう

外から帰った時、調理の前、食事の前、トイレの後、ペットにふれた後は、手を石鹸でよく洗いましょう。また、生の肉や魚卵を扱ったときにも手を洗うようにします。



清潔な台所で調理しましょう

包丁、まな板、皿、ボール、布巾などの台所用品は必ずよく洗います。また、熱湯、塩素系漂白剤（流水でよく洗い流して薬剤が残らないように注意）で消毒しましょう。

十分に加熱しましょう

加熱を十分に行うことで、食中毒菌がいたとしてもやっつけることができます。目安は、中心部の温度が75℃で1分間以上加熱です。

食中毒予防の三原則は、食中毒を「付けない、増やさない、やっつける」です。

管理栄養士 江上まどか

私は誰でしょう？



ヒント；私は、すずらんの里で管理栄養士をしている女性職員です。

早いもので、結婚して2年になりますが今もラブラブです。

利用者の皆さんに「うまか！」と言われるメニューを考え、厨房のお姉さん方と試行錯誤しながら、ひとつひとつ心を込めて作っています。

5月3日（月）から5日（水）までの三日間、菖蒲湯を行いました。5月5日の端午の節句には、菖蒲を湯船に浮かべ無病息災を祈願しています。菖蒲の葉には独特の香氣があり、この香りが不浄払いや邪気を遠ざけるとされています。

菖蒲湯で無病息災祈願

また根には、血行促進効果があるとされています。この日、入浴された宮崎千鶴子さん（83）は、浮かべてある菖蒲を手にとられ「匂いが良いなあ子供の頃を思い出す」と笑顔を見せられました。

職員が「そろそろ上がりましょうか」と尋ねると「今日はもうちょっと」といつもより長めのお風呂を楽しみました。介護職員 植原智樹



広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。